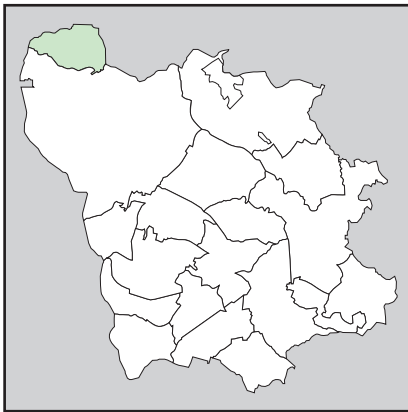
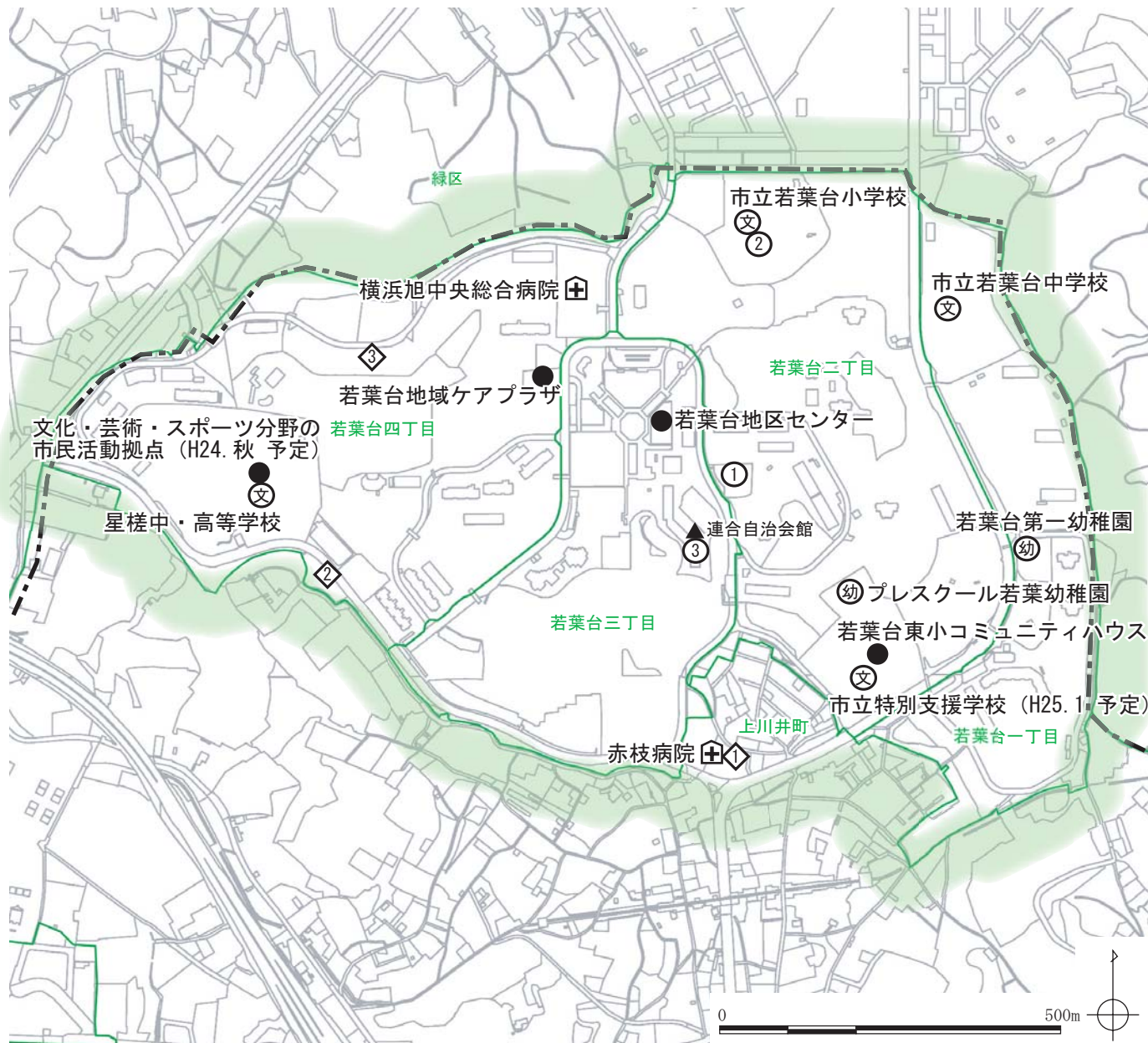


若葉台地区



若葉台地区は、旭区の北端に位置し、地形は起伏に富んでいます。昭和54年から県住宅供給公社により開発された中高層住宅団地73棟が建ち並ぶ地区です。

団地中央にはスーパー、商店街、銀行等の公共施設があり、車道とは分離した歩道・自転車道が縦横に整備され、多くの緑に囲まれた街並みが形成されています。



実際の地区範囲は、町・丁目単位とは限らず地図上に正確に表すことは困難なため、およその範囲で表現しています。地域の状況を把握するための参考データとしてお取り扱い下さい。

背景図：横浜市都市計画基礎調査

地区担当：若葉台地域ケアプラザ

地域の福祉保健施設

子ども

保育園

- ① 市立若葉台保育園
- ② わかばの森保育園

放課後児童クラブ（学童保育）

- ③ 若葉台中央学童保育所

高齢

介護老人保健施設

- ◇ グリーンリーブス赤枝

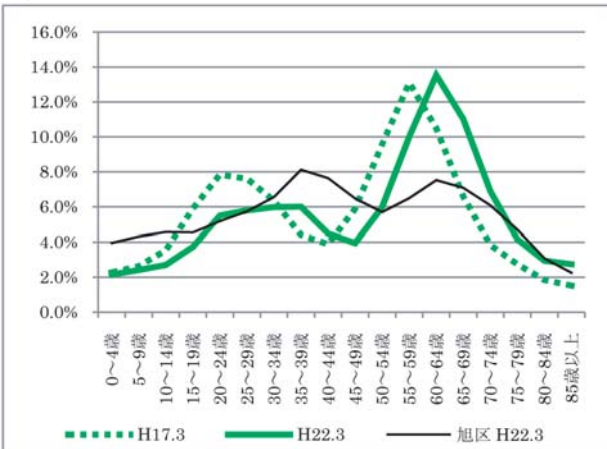
有料老人ホーム

- ◇ トレクオーレ横浜若葉台
- ◇ ヴィンテージヴィラ横浜

【地区周辺の地形】



【総人口に対する5歳階級別人口の割合】



※人口データは町丁目単位までしか集計されていないため、一つの町丁目が複数の地区にまたがっている場合は、所属面積の大きい地区に含めて作成しています。したがって、上記データは地域の概況を把握するための参考としてお取り扱い下さい。

地区データに見る特徴

- ・帷子川の源流域である丘陵部を大規模に開発した集合住宅団地です。
- ・この5年間に、総世帯数は漸増していますが、総人口は7.9%減少し小規模世帯化が進んでいます。
- ・初期入居世代である団塊の世代の人口が突出し、その子どもたちの世代は急激に流出しています。
- ・年少人口、生産年齢人口ともに20%を越える減少であるのに対して、高齢者は54.6%増加しました。その結果、高齢化率は11.3ポイント上昇し、27.8%となっています。
- ・一方、旭区全体では比較的多く住む30~40歳代の人口比率が大幅に小さくなっています。

【世帯数及び人口】

	H17.3 (総数比)	H22.3 (総数比)	H17-22 増減比率
総世帯数	6,488 世帯	6,679 世帯	+2.9%
総人口	17,474 人	16,089 人	-7.9%
0~14歳 (内、0~6歳)	1,474 人 (8.4%) 573 人 (3.3%)	1,170 人 (7.8%) 494 人 (3.1%)	-20.6% -13.8%
15~64歳	13,110 人 (75.0%)	10,452 人 (65.0%)	-20.3%
65歳以上	2,890 人 (16.5%)	4,467 人 (27.8%)	+54.6%

住民基本台帳及び外国人登録人口合計 (若葉台一丁目・二丁目・三丁目・四丁目)

若葉台地区の活動情報

(平成22年9月末現在)

子育て地域サロン

「若葉台子育てささえあい連絡会」
みんなあつまれ
毎月第2金曜日
場所：若葉台地域ケアプラザ
親子で気軽に集い、交流する場です。

グループ翔「拡大写本の会」

毎月第2・4火曜日
時間：9:30 ~ 11:30
場所：若葉台地区センター
弱視者・高齢者・大きい字を必要とする方のための拡大写本づくりをしています。

ボランティア企画

「若葉と森と愛」
配食、給食会の実施。
失語症当事者の支援。
施設入所者の散歩介助。

障害児者・家族・ボランティアの会 「テクテクの会」ふれあい広場

原則毎月第3日曜日
時間：10:00 ~ 12:00
場所：若葉台地域ケアプラザ
ハンディキャップのある子どもたちとふれあい共に活動する場です。

「NPO法人若葉台」

地域の居場所事業
“ふれあいわかば”の運営
場所：ショッピングタウンわかば内

地域リハビリ教室 「イツワ会」

毎月第1・3水曜日
時間：13:00~15:30
場所：若葉台地域ケアプラザ
脳血管疾患等で中途障害のある方が集まり機能訓練や交流をする場です。

個別支援グループ

「NPO法人いっぱい
若葉台事業所のこのこの会」
車での病院などへの送迎
通院・散歩・買い物等の介助
小修繕・粗大ゴミの搬出・家具の移動



町ぐるみ健康づくり教室

「若葉台地区
町ぐるみ健康づくり教室」
毎月1回
場所：若葉台地域ケアプラザなど
ストレッチ、グランドゴルフなどを通し健康づくりを行っています。

個別支援グループ

「ケアサポート野の花」
介護・介助
通院・外出付添など

個別支援グループ

「ホームヘルプ若葉台」
家事支援 (買物・料理・洗濯・掃除等)
通院・外出の介助
話し相手・朗読など

- ・地域には他にも様々な活動があります。
- ・活動についてのお問合せは、若葉台地域ケアプラザ 旭区社会福祉協議会へお気軽にどうぞ。

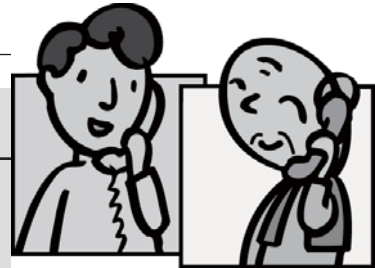
活動の概要

- 人と人とのつながり、情報提供・交換などを充実させるための『若葉台なんでも相談』
- 小・中学校再編に伴う跡施設の活用の検討
- 高齢者への支援

第1期の取組

1 若葉台なんでも相談

- ◎ 相談日：週5日（月～金曜日）
- ◎ 時間：10時～16時
- ◎ 相談内容：① 日常の困りごと
② 各種連絡先の問い合わせ
③ 福祉関係の問い合わせ
④ 悩み事に対しての傾聴



現任者のスキルアップ研修、新規相談員募集、新規事業

2 学校跡施設活用の検討

- ・旧東小学校：新治特別支援学校と地域福祉拠点の整備
- ・旧西小学校：私立学校用地としての活用
施設開放と地域交流スペースの設置
- ・旧西中学校：文化・芸術・スポーツ分野の市民活動拠点としての活用整備



※学校跡施設活用については、連合自治会（地区社協、若葉台スポーツ・文化クラブ）が中心となる「小中学校跡地活用検討・調整委員会」が実施しています。

3 隣近所が支えあうまちづくり

- ・緊急時要支援者のフォロー体制づくり
→住民台帳等を基に把握していく方法の検討
- ・顔見知りになれる行事の充実
→現在若葉台で行っている事業を通して、隣近所で支えあうまちづくりの推進
まごころ
⇒多世代地域交流事業、福祉体験「孫子老の日」※



※「孫子老の日」とは、地区社協が主催している事業です。

地区懇談会を3回開催しました！！

【懇談会参加者】

連合自治会関係者、地区社会福祉協議会関係者、保健活動推進員、民生委員・児童委員、ボランティアグループ、PTA、中高生、一般住民 ほか

第1回 6/13(日)「地域の良いところ」「こういったものがあっていいな」の洗い出し

【地域の良いところ】

- ・緑が多い
- ・車道を通らず歩いて安心
- ・地域活動が盛ん
- ・様々な行事がある
- ・公園が多い
- ・子育てしやすい環境
- ・サークル活動が活発
- 等

【こういったものがあっていいな】

- ・段差や階段が多く高齢者には歩きにくいので、スロープやエレベーターの設置
- ・地域循環バス
- ・シニアパワーを引き出す場を
- ・みんな気軽に集まれる場所づくり
- ・一人暮らしの高齢者を把握できるような情報
- ・火災地震時への対応
- ・棟や階段での連携、ささえあい
- ・何でもすぐやるボランティアグループがあるとよい（買い物や外出支援） 等



第2回 8/7(土) 自分たち（個人・グループ）でできそうなことを出し合う

【選ばれた項目】

- 災害時の助け合いにつながる、隣同士のコミュニケーション
- 居場所づくり（多世代にわたる居場所／中高生の居場所）
- ボランティア育成（シニアパワー／次世代）
- 交通問題の検討



住民アンケートを実施
 依頼先：各単位自治会
 回答数：約300枚
 内容を第3回懇談会に反映

第3回 9/25(土) 今後の取組の方向性とその方法を考える

【災害時の助けにつながるコミュニケーション】

隣近所での声かけ（エレベーター・回覧板）
 行事・サークル活動への参加促進
 要援護者リスト作成、階段委員・棟長による把握

『若葉台 向こう三軒両隣り』

【居場所づくり】

「ふれあいわかば」の充実
 公園の有効活用
 “一緒に過ごすことが居場所”

【ボランティア育成】

PR方法の検討
 グループのネットワーク促進
 登録制度・有償活動などの仕組みづくり